

(第 35 回)

トラック運送業界の景況感

(令和 7 年 7 月～9 月期)

今期の景況感調査では、前回の低調な結果から大きな変化は見られなかったものの、わずかながら回復傾向がうかがえた。しかし、全体としては課題も多く、依然として景況の停滞感が拭えない結果となった。

まず、実働率および実車率について見ると、前期と比べていずれも「上昇」との回答が増加し、「低下」との回答は減少した。「横ばい」との回答も減少しており、わずかではあるが回復傾向にあることがうかがえる。

次に輸送数量全体をみると、こちらも実働率・実車率と同様に「増加」との回答が増え、「減少」との回答が減少した。多少ながら貨物量の増加が見られる。

営業収入についても「増加」の回答が増加し、「減少」の回答が減少しているが、その変化はごくわずかであり、営業利益の回復には至っていない。

また、運賃・料金の水準については、昨年 3 月に標準的な運賃の改定が行われたものの、「上昇」の回答は 3 期連続で減少し、「低下」の回答は 2 期連続で増加している。依然として、適正な運賃・料金の転嫁が行われていない荷主が多いことがうかがえる。今後も適正な運賃収受に向け、荷主との正当な価格交渉に取り組む必要がある。

ドライバーの過不足状況については、前期では減少傾向にあった「ドライバーが不足している」との回答が今期は増加した。所定外労働時間が減少傾向にある一方で、輸送量はわずかに増加しており、これがドライバー不足の深刻化につながっていると考えられる。

最後に、業界全体の課題である人材不足やドライバーの高齢化を踏まえ、ドライバーの長期的な活躍に向けた取り組みについてアンケートを実施した。

1 つ目の「健康管理」では、年 1 回の健康診断に加え、点呼時の健康状態確認や血圧チェックなど、日常業務の中で健康管理に取り組む事業者が多く見られた。さらに、健康診断の結果をもとに個別面談やヒアリングを行う事業者もあった。

2 つ目の「働き方改革」では、週休 2 日制の導入や有給取得率向上の呼びかけなど、休日の増加に取り組む事業者が多かった。また、ドライバー自身に時間管理の意識を持たせたり、効率的な運行ルートを採用したりすることで、労働時間の短縮と休息時間の確保を図る取り組みも報告された。

令和 7 年 11 月 1 日

一般社団法人大阪府トラック協会

トラック運送事業者における景況感調査（大ト協 第35回）

令和7年7月～9月期調査票

1. ドライバー数（人）

1～10人	15 社	25.4%	51～100人	4 社	6.8%
11～20人	16 社	27.1%	101～300人	3 社	5.1%
21～30人	10 社	16.9%	301人～	2 社	3.4%
31～50人	9 社	15.3%	未回答	0 社	0.0%

2. 女性ドライバー数

59 社中 19 社 平均人数 4.5 人

3. 1社あたりの保有台数

1～10両	10 社	16.9%	51～100両	2 社	3.4%
11～20両	15 社	25.4%	101～300両	1 社	1.7%
21～30両	8 社	13.6%	301両～	3 社	5.1%
31～50両	10 社	16.9%	未回答	10 社	16.9%

4. 取扱品目

	1位	2位	3位
1. 米・麦・穀物	0 社	0 社	0 社
2. 生鮮食品	0 社	1 社	0 社
3. 加工食品	4 社	2 社	1 社
4. 飲料・酒	2 社	3 社	1 社
5. 原木・材木等の林産品	2 社	0 社	0 社
6. 鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品	2 社	0 社	0 社
7. 鉄鋼厚板・金属薄板・地金等金属素材	4 社	2 社	0 社
8. 鋼材・建材等の建築・建設用金属製品	6 社	8 社	0 社
9. 壁紙・タイル等の住宅用資材	0 社	1 社	0 社
10. 金属部品・金属加工品（半製品）	1 社	1 社	2 社
11. セメント・コンクリート・コンクリート製品	0 社	0 社	1 社
12. ガソリン・軽油等の石油石炭製品	2 社	0 社	0 社
13. 合成樹脂・塗料等の化学性原料	4 社	2 社	0 社
14. 医療品	2 社	1 社	0 社
15. その他の化学製品	3 社	2 社	1 社
16. 紙・パルプ・印刷物	4 社	2 社	3 社
17. 糸・反物等の繊維素材	0 社	0 社	0 社
18. 衣類・布団等の繊維製品	1 社	1 社	0 社
19. 日用品	3 社	2 社	1 社
20. 引越荷物	0 社	0 社	2 社
21. プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加工品	1 社	5 社	2 社
22. 機械ユニット・半製品	1 社	1 社	1 社
23. 精密機械・生産用機械・業務用機械	4 社	2 社	2 社
24. 家電・民生用機械	1 社	0 社	1 社
25. 完成自動車・オートバイ	0 社	0 社	1 社
26. 再生資源・スクラップ	0 社	1 社	1 社
27. 廃棄物	1 社	1 社	0 社
28. 宅配便・特積貨物	0 社	1 社	1 社
29. 空容器・返送回送資材	0 社	0 社	1 社
30. その他	5 社	2 社	5 社
31. 未回答	6 社	18 社	32 社

ドライバー人数	社数	割合
1～10人	15	25.4
11～20人	16	27.1
21～30人	10	16.9
31～50人	9	15.3
51～100人	4	6.8
101～300人	3	5.1
301以上	2	3.4
未回答	0	0.0

女性ドライバー	
人数	85
社数	19
割合	32.2
平均人数	4.5

保有台数	社数	割合
1. 1～10台	10	16.9
2. 11～20台	15	25.4
3. 21～30台	8	13.6
4. 31～50台	10	16.9
5. 51～100台	2	3.4
6. 101～300台	1	1.7
7. 301台以上	3	5.1
0. 未回答	10	16.9

事業内容	
特積み宅配	1
特積み宅配以外	2
一般	45
未回答	12

取り扱い品目	1位	2位	3位
1. 米・麦・穀物	0	0	0
2. 生鮮食品	0	1	0
3. 加工食品	4	2	1
4. 飲料・酒	2	3	1
5. 原木・材木等の林産品	2	0	0
6. 鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品	2	0	0
7. 鉄鋼厚板・金属薄板・地金等金属素材	4	2	0
8. 鋼材・建材等の建築・建設用金属製品	6	8	0
9. 壁紙・タイル等の住宅用資材	0	1	0
10. 金属部品・金属加工品（半製品）	1	1	2
11. セメント・コンクリート・コンクリート製品	0	0	1
12. ガソリン・軽油等の石油石炭製品	2	0	0
13. 合成樹脂・塗料等の化学性原料	4	2	0
14. 医療品	2	1	0
15. その他の化学製品	3	2	1
16. 紙・パルプ・印刷物	4	2	3
17. 糸・反物等の繊維素材	0	0	0
18. 衣類・布団等の繊維製品	1	1	0
19. 日用品	3	2	1
20. 引越荷物	0	0	2
21. プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加工品	1	5	2
22. 機械ユニット・半製品	1	1	1
23. 精密機械・生産用機械・業務用機械	4	2	2
24. 家電・民生用機械	1	0	1
25. 完成自動車・オートバイ	0	0	1
26. 再生資源・スクラップ	0	1	1
27. 廃棄物	1	1	0
28. 宅配便・特積貨物	0	1	1
29. 空容器・返送資材	0	0	1
30. その他	5	2	5
31. 未回答	6	18	32
合計	59	59	59

トラック運送事業者における景況感調査結果(令和7年7月～9月期)

※59社回答

実働率	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	0	0.0%	14	23.7%	34	57.6%	8	13.6%	3	5.1%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	10	16.9%	36	61.0%	10	16.9%	2	3.4%	1	1.7%
先行き	1	1.7%	9	15.3%	36	61.0%	12	20.3%	0	0.0%	1	1.7%

実車率	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	0	0.0%	13	22.0%	34	57.6%	10	16.9%	2	3.4%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	8	13.6%	38	64.4%	10	16.9%	2	3.4%	1	1.7%
先行き	0	0.0%	9	15.3%	37	62.7%	12	20.3%	0	0.0%	1	1.7%

ドライバーの過不足	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.不足	2.やや不足	3.適当	4.やや過剰	5.過剰	6.未回答	件数	%	件数	%		
今期の状況	10	16.9%	25	42.4%	23	39.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	13	22.0%	28	47.5%	16	27.1%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.7%

ドライバーの採用状況	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	1	1.7%	9	15.3%	40	67.8%	6	10.2%	3	5.1%	0	0.0%
前期比	1	1.7%	4	6.8%	42	71.2%	8	13.6%	3	5.1%	1	1.7%
先行き	0	0.0%	9	15.3%	31	52.5%	11	18.6%	7	11.9%	1	1.7%

ドライバー以外の過不足	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.不足	2.やや不足	3.適当	4.やや過剰	5.過剰	6.未回答	件数	%	件数	%		
今期の状況	6	10.2%	17	28.8%	35	59.3%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	7	11.9%	21	35.6%	29	49.2%	1	1.7%	0	0.0%	1	1.7%

ドライバー以外の採用状況	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	2	3.4%	2	3.4%	50	84.7%	4	6.8%	1	1.7%	0	0.0%
前期比	2	3.4%	2	3.4%	48	81.4%	5	8.5%	1	1.7%	1	1.7%
先行き	2	3.4%	4	6.8%	41	69.5%	6	10.2%	4	6.8%	2	3.4%

所定外労働時間 (休日労働を含む)	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	0	0.0%	5	8.5%	36	61.0%	16	27.1%	2	3.4%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	4	6.8%	32	54.2%	20	33.9%	2	3.4%	1	1.7%
先行き	0	0.0%	2	3.4%	36	61.0%	19	32.2%	1	1.7%	1	1.7%

貨物の再委託の割合	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	0	0.0%	8	13.6%	39	66.1%	6	10.2%	4	6.8%	2	3.4%
前期比	0	0.0%	5	8.5%	39	66.1%	9	15.3%	3	5.1%	3	5.1%
先行き	0	0.0%	6	10.2%	35	59.3%	11	18.6%	4	6.8%	3	5.1%

経常損益	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に好転	2.やや好転	3.変化なし	4.やや悪化	5.大幅に悪化	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	0	0.0%	17	28.8%	22	37.3%	18	30.5%	2	3.4%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	13	22.0%	22	37.3%	21	35.6%	2	3.4%	1	1.7%
先行き	0	0.0%	12	20.3%	24	40.7%	19	32.2%	3	5.1%	1	1.7%

業界の景況感	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に好転	2.やや好転	3.変化なし	4.やや悪化	5.大幅に悪化	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	0	0.0%	6	10.2%	26	44.1%	21	35.6%	5	8.5%	1	1.7%
前期比	0	0.0%	4	6.8%	26	44.1%	23	39.0%	4	6.8%	2	3.4%
先行き	0	0.0%	5	8.5%	23	39.0%	24	40.7%	5	8.5%	2	3.4%

今期の水準	件数 %		件数 %		件数 %			
	1.良い	2.ふつう	3.悪い	4.未回答	件数	%		
	6	10.2%	30	50.8%	21	35.6%	2	3.4%

輸送数量全体	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	12	20.3%	27	45.8%	15	25.4%	3	5.1%	2	3.4%
前期比	0	0.0%	8	13.6%	31	52.5%	15	25.4%	2	3.4%	3	5.1%
先行き	0	0.0%	10	16.9%	29	49.2%	17	28.8%	0	0.0%	3	5.1%

取扱い1位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	9	15.3%	29	49.2%	16	27.1%	3	5.1%	2	3.4%
前期比	0	0.0%	7	11.9%	30	50.8%	17	28.8%	2	3.4%	3	5.1%
先行き	0	0.0%	6	10.2%	32	54.2%	18	30.5%	0	0.0%	3	5.1%

取扱い2位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	8	13.6%	21	35.6%	16	27.1%	1	1.7%	13	22.0%
前期比	0	0.0%	5	8.5%	23	39.0%	17	28.8%	0	0.0%	14	23.7%
先行き	0	0.0%	8	13.6%	21	35.6%	16	27.1%	0	0.0%	14	23.7%

取扱い3位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	10	16.9%	18	30.5%	4	6.8%	0	0.0%	27	45.8%
前期比	0	0.0%	6	10.2%	21	35.6%	4	6.8%	0	0.0%	28	47.5%
先行き	0	0.0%	7	11.9%	20	33.9%	4	6.8%	0	0.0%	28	47.5%

営業収入(売上高)	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	19	32.2%	20	33.9%	13	22.0%	4	6.8%	3	5.1%
前期比	0	0.0%	13	22.0%	25	42.4%	15	25.4%	2	3.4%	4	6.8%
先行き	0	0.0%	10	16.9%	27	45.8%	16	27.1%	2	3.4%	4	6.8%

営業利益	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	19	32.2%	22	37.3%	12	20.3%	3	5.1%	3	5.1%
前期比	0	0.0%	12	20.3%	25	42.4%	16	27.1%	2	3.4%	4	6.8%
先行き	0	0.0%	10	16.9%	26	44.1%	18	30.5%	1	1.7%	4	6.8%

運賃・料金の水準	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	19	32.2%	33	55.9%	3	5.1%	0	0.0%	4	6.8%
前期比	0	0.0%	8	13.6%	43	72.9%	3	5.1%	0	0.0%	5	8.5%
先行き	0	0.0%	12	20.3%	39	66.1%	3	5.1%	0	0.0%	5	8.5%

適正運賃の收受について

運賃交渉の状況	標準的な運賃を提示		標準的な運賃を考慮した自社運賃を提示		具体的な値上げ額や値上げ率を提示		提示していない(既存の自社運賃)		未回答	
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

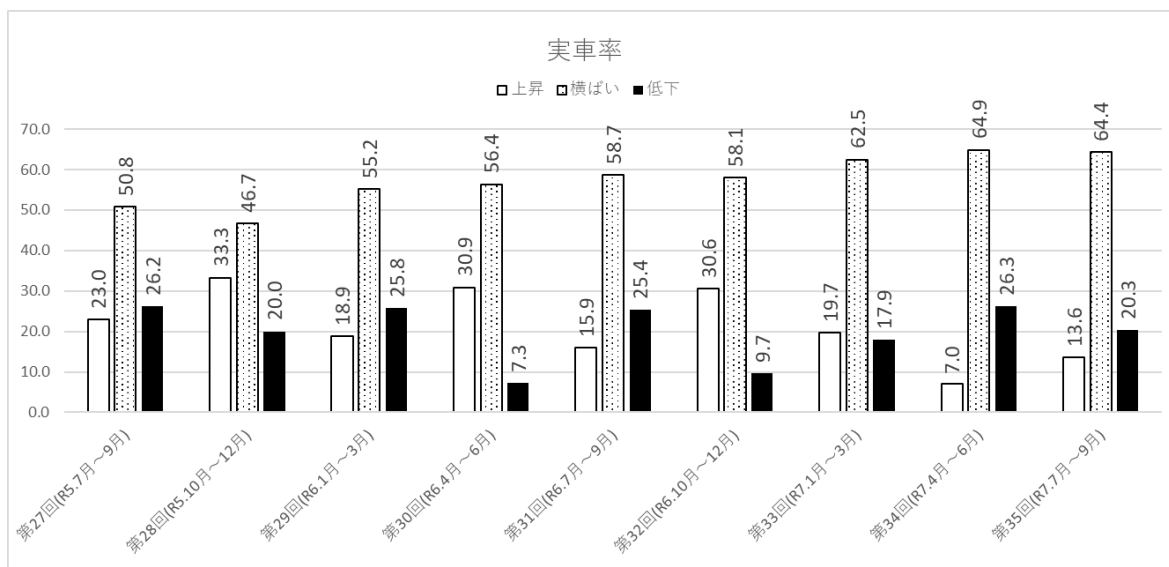
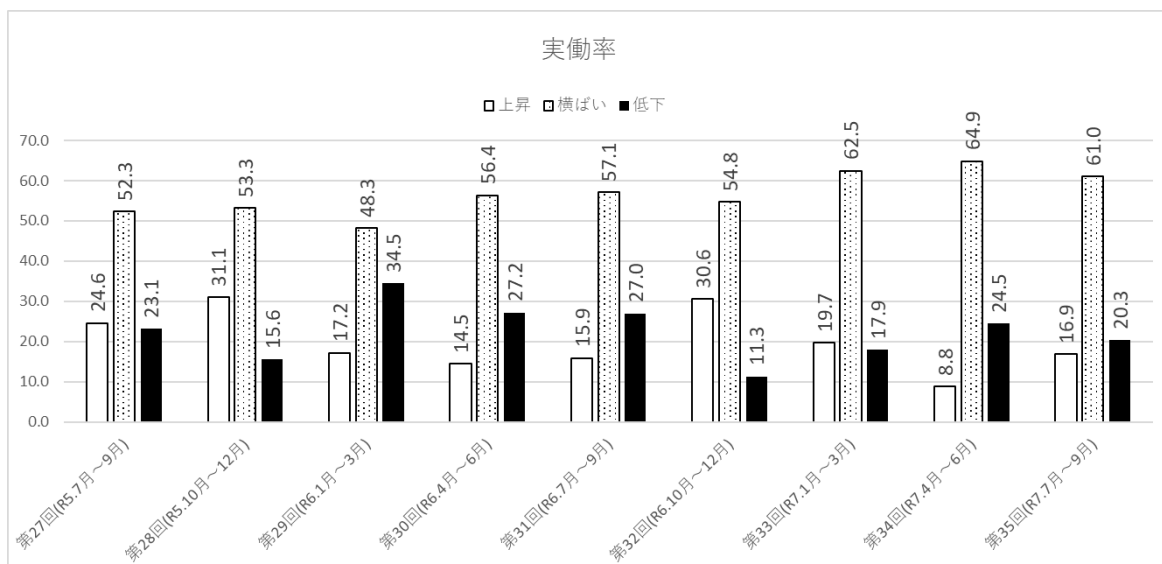
原価の反映	人件費		固定費		燃料費		実費		積み込み料等	
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

待機料		付帯業務		改定なし		未回答	
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

○実働率・実車率

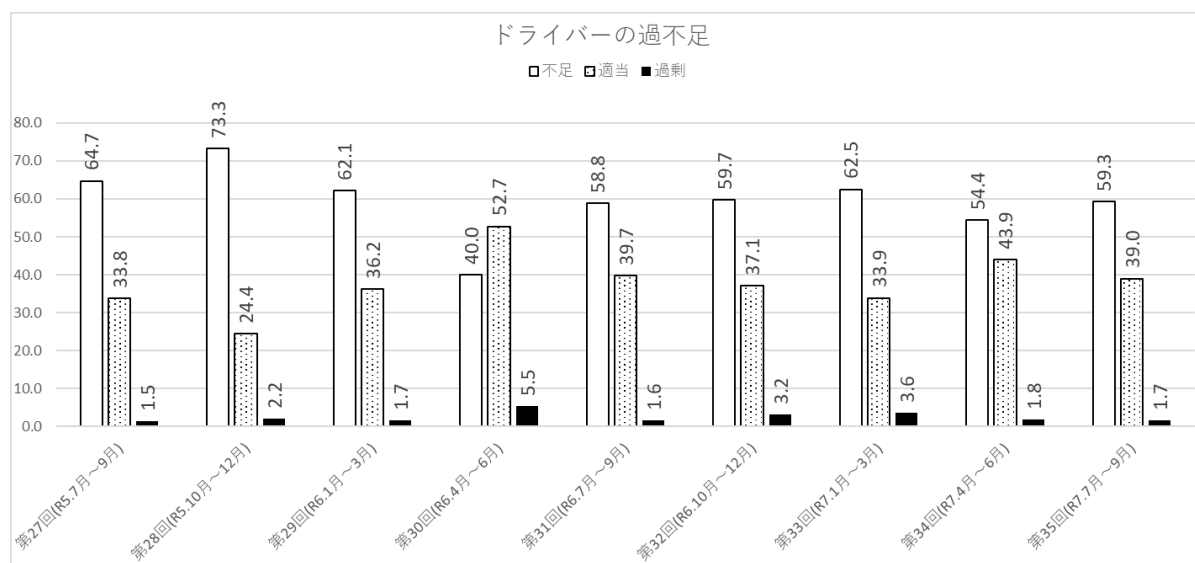
実働率の前期比では「上昇」が8.1ポイント増加し、「横ばい」は3.9ポイント、「低下」は4.2ポイント減少した。

実車率についても「上昇」が6.6ポイント増、「横ばい」が3.5ポイント減、「低下」が6.0ポイント減少しており、全体的に改善傾向が見られる。



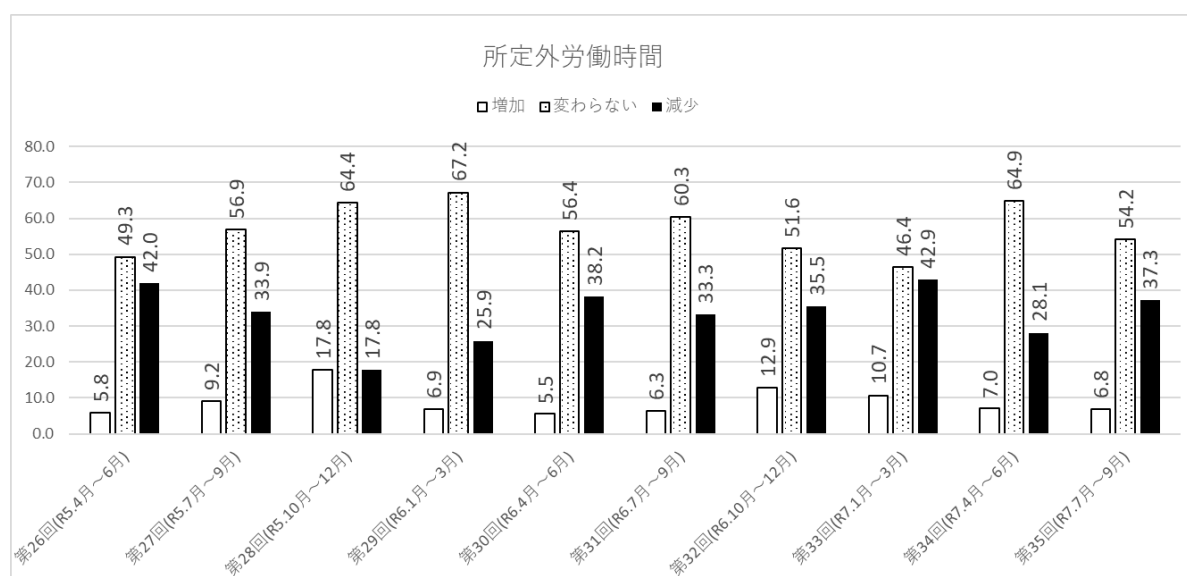
○ドライバーの過不足

ドライバーの過不足について「不足」との回答が4.9ポイント増加し、「適当」との回答が同率で減少した。前期と比べて不足感が高まっており、人手不足の深刻化がうかがえる。



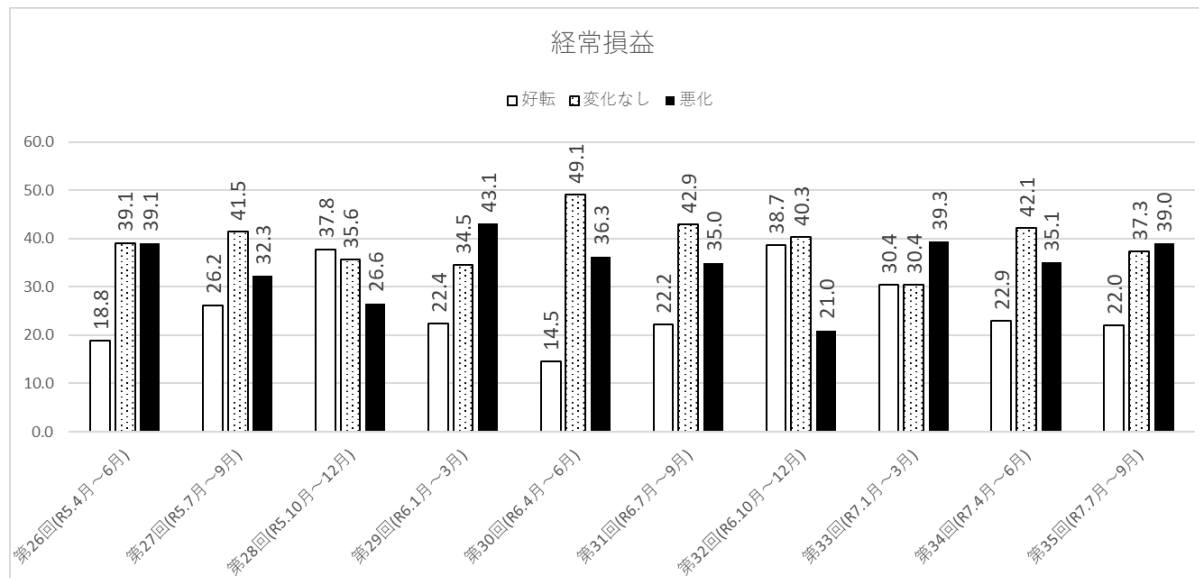
○所定外労働時間

所定外労働時間について、「増加」との回答が0.2ポイント減少し、「減少」との回答は9.2ポイント増加した。改善基準告示の影響が続いており、前期よりも所定外労働時間の減少傾向が強まっている。



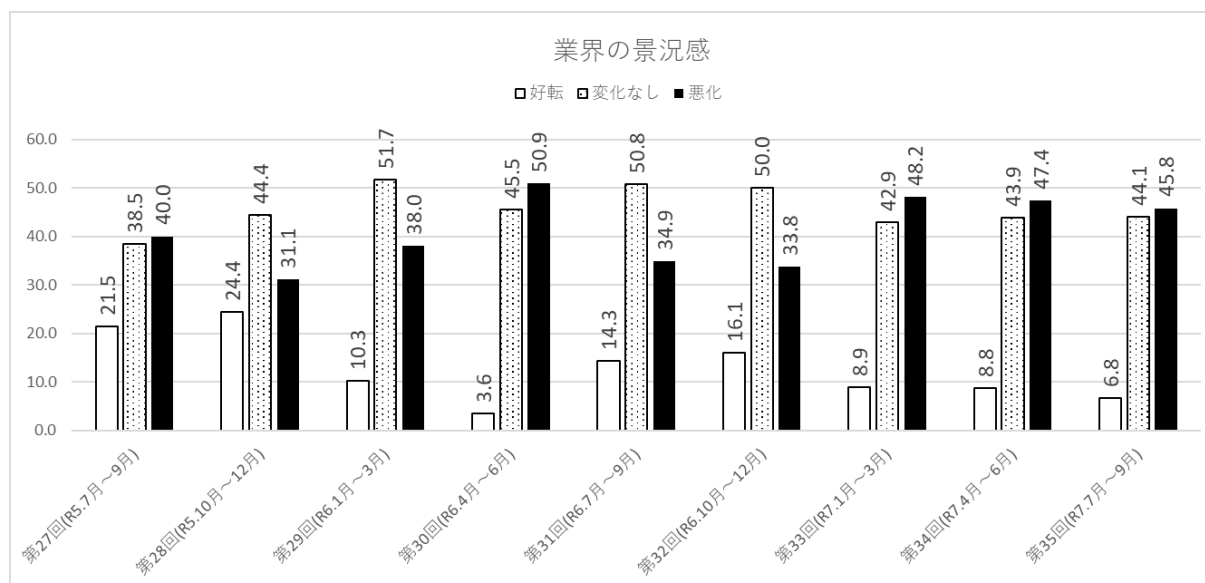
○経常損益

経常損益について、「好転」との回答が0.9 ㊦減少し、「悪化」との回答は3.9 ㊦増加した。前期と比べて「好転」の回答は大きな変化はないが、「悪化」の回答が増加により、経常損益は悪化傾向にあるといえる。



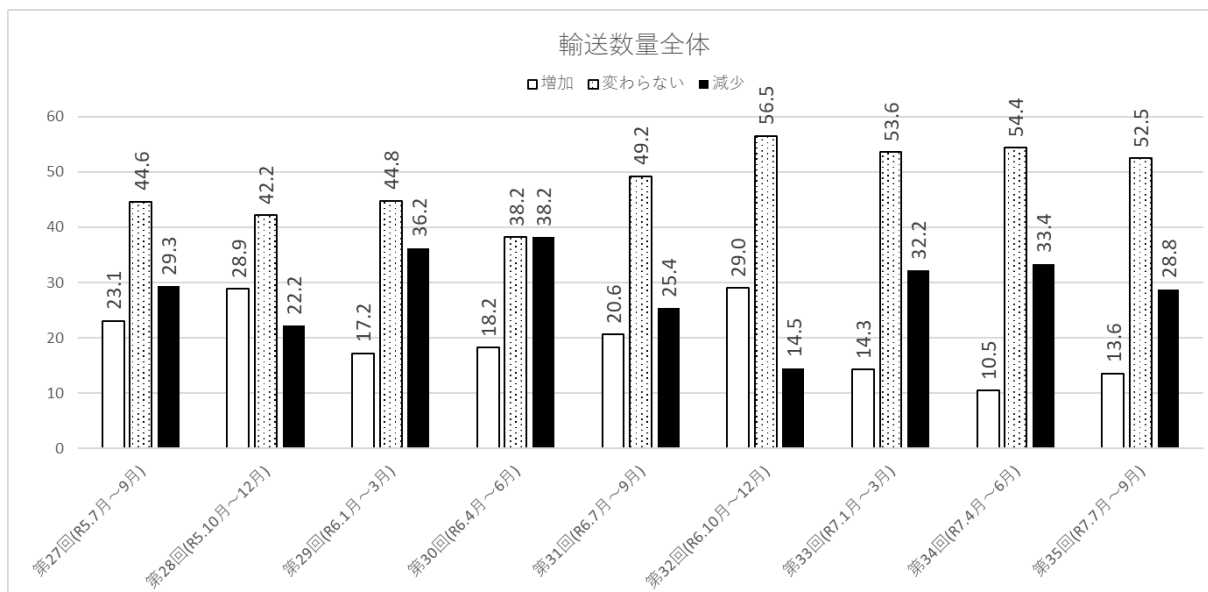
○業界の景況感

業界の景況感について、「好転」との回答が2.0 ㊦、「悪化」との回答は1.6 ㊦減少しており、全体として前回と大きな差はない。ただし、昨年と比較すると「好転」は半減し、「悪化」は10.0 ㊦以上増加しており、荷動きの悪化が見受けられる。



○輸送数量

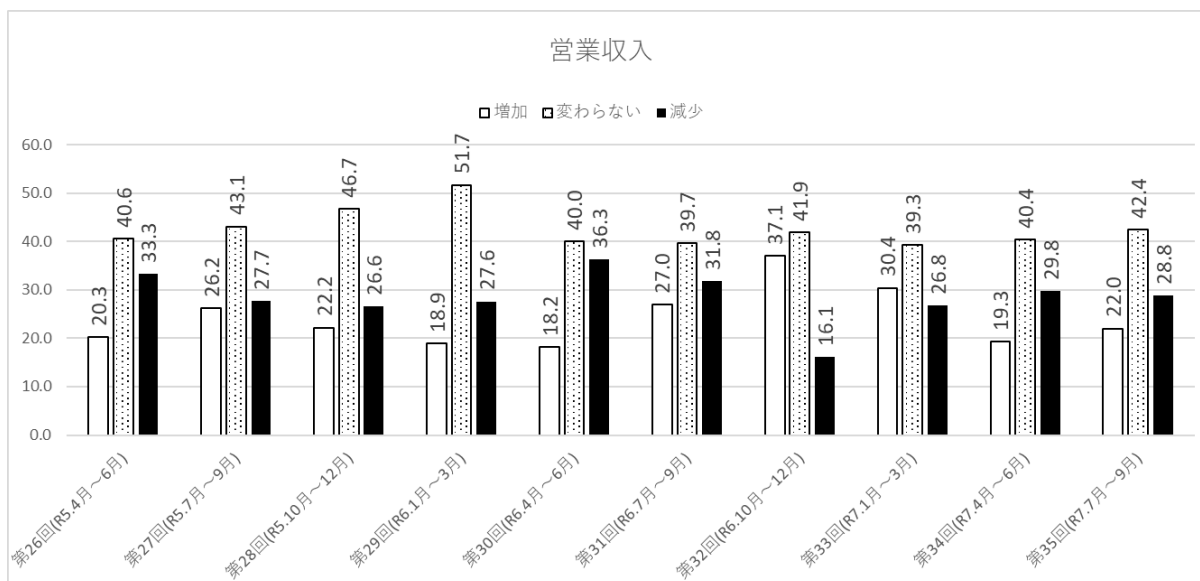
輸送数量について、「増加」回答が3.1 ㊦増加し、「減少」が4.6 ㊦減少している。「変わらない」との回答が多く、わずかに好転傾向にはあるものの、荷動きの停滞は依然として続いている。



○営業収入

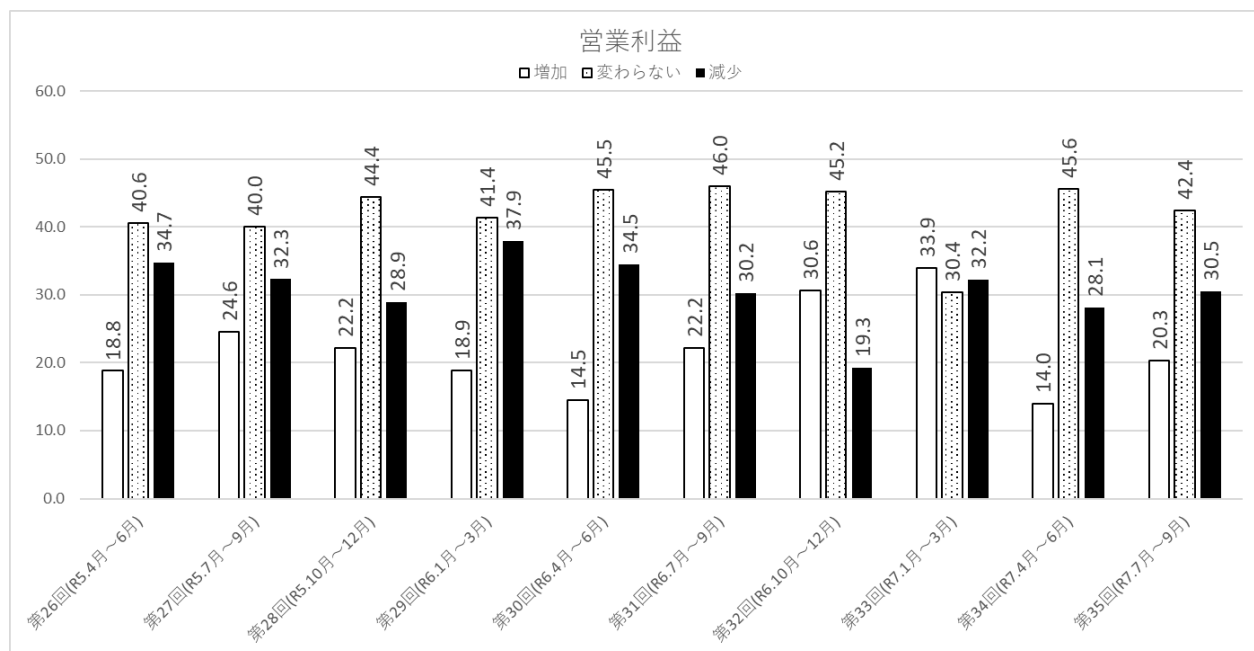
営業収入について、「増加」が2.7 ㊦増加し、「減少」が1.0 ㊦減少。

微増ではあるが、前期から大きな改善は見られず、営業収入の鈍化は続いている。



○営業利益

営業利益について「増加」が6.3 ㊦増加し、「減少」が2.4 ㊦増加した。前期では「増加」が大きく減少していたが、今期は回復傾向が見られ、わずかに営業利益が向上したといえる。



○運賃・料金の水準

運賃・料金の水準について、「上昇」が7.5 ㊦減少し、「低下」が1.6 ㊦増加した。昨年の標準的な運賃改定以降、「上昇」は3期連続減少、「低下」は2期連続で増加している。依然として適正な賃金・料金の収受がなされていない取引が多いことがうかがえる。

